

農村の高齢化とその対応

—生産組織にみる個々農家の高齢者の役割—

野呂茂道・滝田和夫*・成田勝治**

(青森県農業経営研究所・*青森県三戸地方農林事務所・**青森県農政課)

A Measure to Aging in Rural Communities

—Aged people's work at own farming participating in group farming—

Shigemichi NORO, Kazuo TAKITA* and Katsuji NARITA**

Aomori Institute of Agricultural Economics・*Sannohe Area

Agriculture and Forestry Office・**Agricultural Administration

Section of Aomori Prefectural Government Office

1 はじめに

農業、農村の高齢化が、今後ますます進むと考えられ、その対応として、地域内の土地、労働の調整を行うことが重要になってくる。この時に農作業の担い手となるのが、中核的農家であり、生産組織となる。一般に生産組織の効果は、機械の有効利用とコストの低減、合理化による複合部門と農外就労の機会創出等にあるが、高齢者にとっても、重労働から解放できるという利点があるほか、複合部門でも高齢者が役割を果たせるところがあると思われる。

この調査は、高齢者が自家農業の農作業上でどのような役割を果たしているかを把握し、今後の農業への関わり方についての考えを把握することを目的として、青森県三戸郡倉石村のA水稻生産組織に参加している農家のうち65歳以

上の男性で農作業を行っている人のいる農家21戸を対象として行った。

2 地域概況

A水稻生産組織に係わる4集落の概要を表1に示した。1985年センサスによると、この地域は、総農家戸数208戸のうち64.9%が第2種兼業農家で、その割合は村平均より15ポイントも高い。農業生産は米、果樹、野菜が中心となっているが、村全体と比較すると、野菜はそれほど盛んでなく、米、果樹の比重が高くなっている。

A水稻生産組織が行う農作業は、耕起、代かき、田植、病害虫防除、刈取り及び脱穀で、組合員の希望があれば基肥の散布も行っている。また、作業人夫の確保は、作付面積による出役割当が基本となっている。なお、育苗と乾燥

表1 地域概要

(戸, ha, %)

	4 集落計	倉 石 村	青 森 県
農 家 戸 数	208 (100.0)	647 (100.0)	97,046 (100.0)
専 業 農 家	23 (11.1)	138 (21.3)	13,483 (13.9)
第 1 種 兼 業 農 家	48 (23.1)	189 (29.2)	29,774 (30.7)
第 2 種 兼 業 農 家	137 (64.9)	320 (49.5)	53,789 (55.4)
経 営 耕 地 面 積	294 (100.0)	1,111 (100.0)	136,943 (100.0)
水 田	127 (43.1)	509 (45.8)	84,486 (61.7)
う ち 水 稲	109 (37.1)	404 (36.4)	72,162 (52.7)
畑	80 (27.3)	383 (34.5)	30,431 (22.2)
樹 園 地	87 (29.6)	220 (19.8)	22,026 (16.1)
販売金額1位の部門農家数			
農 産 物 販 売 農 家 数	198 (100.0)	621 (100.0)	84,927 (100.0)
稲	115 (58.1)	266 (42.8)	55,148 (64.4)
果 樹	40 (20.2)	106 (17.1)	18,226 (21.5)
野 菜	24 (12.1)	168 (27.1)	3,772 (4.4)
工 芸 作 物	10 (5.0)	40 (6.4)	2,945 (3.5)
畜 産	1 (0.5)	22 (3.5)	2,101 (2.5)
1 戸 当 り 耕 地 面 積	1.4	1.7	1.4
農 家 人 口 高 齢 者 比 率	16.1	16.2	14.4
農 業 就 業 人 口 高 齢 者 比 率	24.2	22.3	19.1
農 業 専 従 者 の 高 齢 者 比 率	13.9	10.5	9.3

注. 1985年センサスより

調製については農協が行っている。

3 調査農家概要

調査農家21戸の主な営農形態は水稻+果樹(11戸)及び水稻+果樹+野菜(6戸)となっている。調査対象者(65歳以上の男性)の平均年齢は69.3歳, 最高が79歳である。

調査農家の大部分は兼業農家で、息子が主として農外に従事している農家が18戸と多い。

4 使用できる機械

表2に高齢者が使用できる機械についての聞き調査結果を示した。最も多かったのは草刈機で、次いで動力噴霧機となっており、手に持って作当する機械が多かった。田植機やコンバインを使用できると答えた人は少なかったが、これは生産組織が早くから組織され個別で使う必要がなかったことによるものと考えられる。年齢別に見た場合、65～69歳に比べ70歳以上では使える機械が少ない。

表2 使用できる機械 (人, %)

機 械 名	全 体	65～69	70～74	75歳以上
トラクター	12 (57.1)	11 (91.1)	1 (14.3)	0
田 植 機	7 (33.3)	5 (41.7)	1 (14.3)	1 (50.0)
動力噴霧器	14 (66.7)	11 (91.7)	2 (28.6)	1 (50.0)
管 理 機	11 (52.4)	9 (75.0)	1 (14.3)	1 (50.0)
バインダー	10 (47.6)	8 (66.7)	1 (14.3)	1 (50.0)
コンバイン	4 (19.0)	4 (33.3)	0	0
草 刈 機	18 (85.7)	11 (91.7)	5 (71.4)	2 (100.0)
SS	3 (14.3)	3 (25.0)	0	0
計	21	12	7	2

注. () は比率

5 作 業 分 担

水稻の作業は、主要作業が組織で行われているため、個々の農家で行うのは施肥、除草、水管理等となっている。これらの作業は、65～69歳で本人(65歳以上男性)が担っていることが多いが、70歳以上になると息子(婿)や、嫁(娘)が担うことが多くなっている(表3)。また、70歳以上になると、多くの作業はしなくなるが、水管理だけは担っている高齢者が多い。

また、生産組織への作業人夫としての出役をみると、65～69歳では12人中10人が出役しているが、70歳以上では9人中3人より出役していない。

リングについては、70歳になってもせん定、整枝、接ぎ木など高度な技術を要する作業については、後継者に対する依存度が極めて低くなっている(表4)。なお、摘花(果)、袋かけ、葉摘み、除袋、収穫のような単純作業については、女性も多く担っている。

表3 水稻の作業分担 (人)

本人年齢 担 当 者	65～69 歳				70 歳以上			
	本人	妻	息子	嫁	本人	妻	息子	嫁
基 肥	8	3	3	1	2		6	3
追 肥	9	3	2	1	2		7	3
中耕除草	7	2	2	2	2	1	5	3
ひえぬき	8	2	1	2	3	1	5	4
畦畔草刈	9	2	3		3		6	2
水 管 理	10	1	2		6	1	5	2
オペレーター			2				2	
作業人夫	10	4	4	2	3	1	4	3
計	12	12	12	10	9	6	9	9

表4 リングの作業分担 (人)

本人年齢 担 当 者	65～69 歳					70 歳以上				
	本人	妻	息子	嫁	雇用	本人	妻	息子	嫁	雇用
せん定	11		1			5		3		1
接ぎ木	7	1	1			4	1	1	1	
施 肥	8	1	1	1		3		2	2	
摘花(果)	8	8		4		6	3	1	4	
袋 かけ	5	11	1	5	4	4	3	1	4	1
草 刈 り	6	1	5	2		4	1	1	2	
薬剤散布	2		1			2	1	3	2	
葉 摘 み	7	10	2	6	4	6	3	1	6	
除 袋	8	11	1	5	1	5	3		5	
収 穫	11	11	4	5	1	5	2	1	6	
選 別	9	8	1	3		3	2	1	3	
出 荷	8	2	5	1		3	1	2	2	
計	11	11	11	9	11	8	6	8	8	8

注. 薬剤散布は共同防除以外に自分で散布したもの(落下防止剤等)
共同防除組合ではせん定も請け負うが今回の調査で委託をした農家は1戸だけであった。

6 ま と め

本調査事例では、後継者が恒常的に勤務している兼業農家が多く、水稻+果樹の兼業農家においては、水稻の主な作業を生産組織が、高齢者と女性が主に果樹を、後継者が主に兼業という役割分担がなされているなど、これら農家にとっては、農業は多世代家族の構成員が各々のパートをもち、補い合って維持している。

高齢者の農作業の担い方についてみると、60代では自家農業の主な担い手となっている場合が多い。しかしながら、70代では農業従事の後退により補助的な農業従事へと変化している。また、世帯主の高齢化とともに、他産業従事を主体にしながら、農業にも従事する一人二役の就業タイプの跡継ぎ農業従事者が多くなっている。

今後、高齢者が自家農業の主体となる農家が増え、農作業の受託等も増えていくものと考えられるので、効率よく運営できる地域の農業生産システムの創出が重要と考えられる。